

【回答者：町長】

Q： 東北関東大震災で、西会津に長期にわたり被災者の方が常駐されると思います。

今、西会津町内で備蓄米寄付の動きが始まっています。今後、新米の収穫できる10月まで西会津町内の約8,000名の米の確保が必要となります。米の販売店も備蓄米を持っている生産者も町外の注文で、西会津町内の米が現在町外へ流れています。10月までの町民の米の確保をお願いします。

寄付で被災者の食糧をまかなうことは、そろそろ制限した方がいいと考えます。西会津町の町民の食糧の確実な確保を要望いたします。

【食糧計算 米の場合】

西会津町の避難者300名を含む8,000名の食糧計算

米1カ月1人の食べている量5.0kg×8,000名=40,000kg(4.0t)

×10カ月=40.0t

西会津町に40.0tの米はあるのでしょうか。

(50代 女性)

A： 町内の方々から生活物資、米、義援金など大変多くの支援をいただいております。米の提供については6月末までの確保がされています。今後、避難生活の状況を見ながら町として対応して参ります。

町内の備蓄米について、10月頃の新米が出るまでの確保の提言は十分参考にしたいと思いますが、あくまでも寄付という内容でありますので、必要以上にいただくようなことはいたしません。

回答日： 平成23年5月9日 担当課： 町民税務課